

大面積で環境こだわり農業に取り組むことにより、有利な契約販売

「環境こだわり農産物」の生産に取り組み、農家手取りが向上

大面積での部会取組により安定供給を可能にし、契約販売を実現することで農業経営の安定に貢献

取組のきっかけ・概要

- ・ JAこうかでは、環境にやさしく安全・安心な米づくりを目的として、栽培者を募り、平成17年に「JAこうか特別栽培米生産部会」を設立。同年から大手生協との契約販売を開始。
- ・ 「環境こだわり農産物」の栽培基準を遵守し、同一品質・同一成分の肥料・農薬のみを使用し、銘柄が確認できる種子で生産された米を「JAこうか特別栽培米」として流通。
- ・ さらに、「JAこうか特別栽培米」の中から一等米(外觀)およびたんぱく質含有率6.4%未満の米を「忍味」と区分してブランド化。
- ・ 身近な産地として、近畿地域の大手生協消費者代表の産地視察受入れや取材対応等のPRを通じ、生協消費者との交流を深めるなどの活動を展開。

【概要】

- ・ 組織名 JAこうか特別栽培米生産部会
- ・ 構成員 農業者720名(H29年現在)
- ・ 取組面積 887ha(〃)
- ・ 取組作物 水稻

取組による効果

- ・ 「JAこうか特別栽培米」を地域で一体となって取り組むことで、大きなロットで供給できる体制が確立され、大手生協との契約販売を実現。
- ・ 大手生協は、「JAこうか特別栽培米」を環境に配慮した独自の農産物ブランドとして販売。
- ・ 慣行栽培に比べ60kgあたり400円程度高く買取ることで農家手取り向上にも繋がっている。
- ・ JAこうかでも「忍味」(良食味米)としてブランド化し、直売所等で環境こだわり農産物認証マークを表示して販売(表示は裏面)。



「特別栽培米」集荷のための専用玄米袋



大手生協でのパッケージ



「忍味」パッケージ